


☆ **目指す子ども像**
 ○強い子は
 ○がんばる子
 ○やさしい子





わくわく・ドキン!

3・2・1 No12 池内幼稚園

お正月遊びは楽しいな!

今、園では、カルタ・こま回し・羽根突き・凧揚げ等のお正月遊びが流行っています。シンプルな中にも、遊びを通して子ども同士がつながり、楽しめるのが魅力です。

特に、こま回しは大ブームです! 残念ながら、先月はコロナ禍で地域の「こま名人」を招待して教えていただくことができませんでした。しかし、クラスの先生に紐の巻き方からこまの回し方まで、手取り足取り丁寧に教えてもらいました。特に年少の子ども達にとっては、紐を巻くのも、こまを上手に回すのも大変難しいです。しかし、何度も練習を重ねる中で、だんだん上手に回せるようになってきました。何事も簡単にできてしまうと喜びは生まれません。「ああでもない。こうでもない・・・」と何度も失敗して試行錯誤をする中で、初めて「できた!」時の喜びは、何物にも代え難いものです。その経験を、こま回しを通して学んでいます。機会があれば、例年のように「こま名人」を招待して、こまの妙技(手載せ・綱渡り等)を見せたいと思います。何年か前には、こま名人に「弟子にさせて!」と弟子入りを願い出た子もいました! さて、今年はどうでしょう???

今年の節分(豆まき)は?



今年は、1月に緊急事態宣言が発令され、予定していた期間中の園の行事も中止や延期になりました。2わーい鬼がやって来て子ども達を追いかけ、泣き叫ぶ子が続出する恒例の豆まきも、感染リスクを考慮して、形を変えて実施します。動画配信は行いませんので、御了承ください。

「わくわくランド」・「ドレミファランド」の参観中止!

今月予定していた、「わくわくランド」と「ドレミファランド」は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、誠に残念ですが中止とさせていただきます。

わくわくランドは、講師の梅田先生にサーキット運動等を通して、わくわくしながら楽しい体操を教えていただいています。

ドレミファランドは、講師の幡井先生に、歌い方や楽器(鍵盤ハーモニカ・カスタネット・太鼓等)の演奏の仕方等を楽しく教えていただいています。





2・3月の主な行事予定

2月
 15(月) 満3個人懇談(～22日)
 17(水) 職員研修日(午前中保育) **早延長あり**


3月
 19(金) 卒園式準備(午前中保育) **早あり延長なし**
 20(土) **卒園式**(年長参加)
 22(月) 年中以下通常保育(～23) **早延長あり**
 23(火) ※**弁当持参(給食なし)**
 24(水) **修了式** 午前中保育
 25(木) **早延長あり**
 春休み預かり保育(～31)

*誕生会は、延期した1・2月分も含めて別日程で3月に行う予定です。
 詳細は後日連絡します。
 なお、新型コロナの感染状況により、行事の日程を変更する場合があります。



書き損じハガキ

御協力ありがとうございます!
 書き損じハガキの募集に御協力いただき、大変ありがとうございます。皆様の御協力によりお陰様で現在 **118枚** のハガキが集まっています。
 お寄せいただいたハガキは、ユネスコ舞鶴支部に届けたいと思います。
 ※まだ、お手元に書き損じハガキがありましたら、池内幼稚園までお届けください。2/8(月)まで!



心とまめく

今年もサケを育てています。一月七日にサケの受精卵が到着し、二週間程で孵化して可愛い稚魚が誕生しました。子どもは、生きた魚が大好き! 大切に育てて三月に物長の子も大切に育てて三月に一年の子どもたちも、大きくなって、故郷の池内川に帰って来よう! との願いを込めて池内川に放流します!

☆高校卒業後、大学に行かず独学で世界的な建築家になった安藤忠雄氏は、コロナ禍の時代を生き抜くために「自然と共に」「隣人と共に」「地域と共に」「世界と共に」「手と手」「足と足」を繋ぐ行動を起こしていきなさい! との思いを込めて市民の方々に呼びかけ、自身の体験から「自分で考える」という大切さと、そのためには「読書が重要である」ということを訴えてくれました。

この心は大事です。自由や勇気を言葉で伝える力、子ども達に読んでも欲しい本をたくさん触れさせ、考える力を傾けさせたい。子ども達の可能性を伸ばすことも、そのための一歩です。安藤さんは、その思いで市民の方々に呼びかけ、自身の体験から「自分で考える」という大切さと、そのためには「読書が重要である」ということを訴えてくれました。

「自然と共に」「隣人と共に」「地域と共に」「世界と共に」「手と手」「足と足」を繋ぐ行動を起こしていきなさい! との思いを込めて市民の方々に呼びかけ、自身の体験から「自分で考える」という大切さと、そのためには「読書が重要である」ということを訴えてくれました。

